

モニターレポート(12月報告)

【報告内容①】

先日、阿賀野川ふれあい公園にてハゼ釣りの体験をしているテレビ番組を見ました。河川敷で行うイベントや土手の様子などは「目に入りやすい」ですが、水の中にいる魚、水質、川底など「水の中に入ってしまったもの」に対して、今までなかなか意識する機会がありませんでした。

私自身は川で魚釣りをしたことがないのでわからなかったのですが、子供や女性でも扱いやすい比較的小さめの竿で釣りを楽しめるそうです。

〈事務所からのコメント〉

ご報告いただいたハゼ釣り大会は、毎年阿賀野川ふれあい公園で行われています。道具やテクニックにこだわらなくても手軽に楽しめるので、初心者や子供にもおすすめです。

普段目にしている風景だけでなく、「水の中」も全部含めたものが「阿賀野川」の姿だと思います。水中の動植物の営みや地形の変化などが、陸地の風景にも関連してきます。目に見える自然を形成している「水の中」にも関心を向けていただければ幸いです。

【報告内容②】

「阿賀に生きる」上映会に参加してみました。阿賀野川流域の様々な歴史、文化、そしてその光と影。大河を利用した様々な産業が発展して、昭和の高度経済成長を後押しする一方、阿賀野川沿岸では公害が発生、問題は今も続いている。流域の農村で暮らす人々の生活。春のハツ目うなぎ、秋のサケ、そして川ガニ、川魚、それが生活の一部だったこと。3時間位の上映会でした。

〈事務所からのコメント〉

「阿賀に生きる」の上映会の感想ありがとうございます。阿賀野川の長い歴史の中で、阿賀野川が果たしてきた役割が映画の中に表されてきているものと推察いたしました。ご報告の中にもありました通り、川の自然の姿や沿川の人々との関わり、また、公害発生など様々あり、これらは今後も伝えていかなければならないことと思います。

※複数のモニター報告を要約してあります。

【報告内容③】

高山地区河川敷に不法投棄がありました。農作業用ビニールがあちらこちらに投棄されて、畑にはその予備軍がありました。川には鮭漁の漁網が棄てられていました。

〈事務所からのコメント〉

ゴミ等不法投棄についてのご報告がありました。不法投棄は年間を通じて発生している状況であります。不法投棄はほとんどが原因者不明のケースで、その場合は当方で収集処分を行っております。その他に不法投棄看板の設置等行っておりますが、後を絶たない現状であります。不法投棄がなくなるよう今後もパトロールなどを行っていきます。

【報告内容④】

冬の間使えなかったベンチや公園の遊具などが、春になると雪の重みで変形したり、錆びて折れてしまったりと危険な状態になっていることがあります。その遊具が危険だと判断されると、全て撤去という方向へ進みがちですよ。河川敷の公園は、川を愛する方々が集う場所です。もし可能であれば、遊具やベンチなどの維持に努めて、「危険なものは排除」ではなく、「安全に使っていただける配慮」をよろしくお願いしたいと思います。

〈事務所からのコメント〉

国が管理する河川では、毎年2回、安全利用点検を行っています。川は自然的な場所と公園的な場所があり、それぞれを利用する方々の安全を確保するために、河川管理者と公園管理者(自治体)と一緒に歩いて、危険な箇所等がないかを確認しています。また、河川愛護モニターの方々にも同行をお願いし、「利用者の視点」からご意見をいただいておりますので、ぜひ遊具等についてもご意見をいただければ幸いです。

※複数のモニター報告を要約してあります。